

# キャラクターベスト10

令和8年2月15日現在



- ① ちいかわ (サンスター文具)
- ② ズートピア (サンスター文具)
- ③ ポムポムプリン (クラックス)
- ④ パベットスンスン (サンスター文具)
- ⑤ クロミ (サンリオ)
- ⑥ ミッフィー (スクエア)
- ⑦ スヌーピー (カミオジャパン)
- ⑧ mojojojo (日本出版販売)
- ⑨ シナモロール (クラックス)
- ⑩ たまごっち (サンスター文具)

## 筆記具 BEST 10



- ① ユニボール ゼント シグニチャーモデル (B) 3000円 (三菱鉛筆)
- ② juice+ (B) 150円 (パイロット)
- ③ テクトツウーウェイRO (S) 2500円 (ゼブラ)
- ④ ジェットストリーム多機能ペン4&1 (新定番色) (B) 1000円 (三菱鉛筆)
- ⑤ S20 (S) 2000円 (パイロット)
- ⑥ オレンジ メタルグリップタイプ (S) 1200円 (ぺんてる)
- ⑦ AIMVISION PRO (S) 7200円 (KAYOU+)
- ⑧ ピュアモルト ジェットストリーム 4&1 (B) 2000円 (三菱鉛筆)
- ⑨ フローチュン エアリーカラー (B) 350円 (ぺんてる)
- ⑩ スタイルフィット5色ホルダー (B) 300円 (三菱鉛筆)

注: B=ボールペン, S=シャープペンシル, Cu=カスタマイズ型, CM=カラーマーカー・マーカー類

◆MDS関西支店調べ◆

# 投資とM&A継続

○加藤憲KM会○

## 前向きと成長性忘れず



東京KM会の会場

【マイアツ】加藤憲ホールディングスグループ(加藤憲会長)の仕入先メーカーで構成するKM会は、東京・名古屋と本立にて運営されているが、1月23日に先行して東京KM会が、東京・千代田区の帝国ホテル東京を会場に、メンバー29社55人(加藤憲グループ社員33人)が出席して開催した。

さて業績であるが、昨年9月で前期(第58期)決算を終えた。グループ全体の売上合計は797億6500万円、予算比101%、対前99.3%。経常利益は10億2800万円、予算比128%、対前143%となった。税引後利益は7億5000万円となった。今期に入り12月で第1四半期が終了したが、売上は235億7300万円、予算比110.8%、対前108.9%。経常利益は2億2000万円、予算比200%、対前170%の好調なスタートとなっている。

ここでもう1つ発表がある。私が社長に就任して46年になるが、当時は年商70億円、それが約800億円となった。但しずっと借金もその不安があったが、数年前も約90億円あったが、私どもが保有していた取引先の上場株式の価値が55億円になった。現金預金が45億円あり、実質無借金状態になった。晴れて無借金状態の経営となったものの、保守、守りに入るといって、はげしく考えていない。今後も変わらず積極的な投資、そしてM&Aを継続していく。弊社は時代に合わせ変化していく。

モノ売りでは、GRSGグループを中心に積極的に卸売業を磨き、シェアアップに注力していく。ホームセンターへの売上減は厳しいものの、新しい型の小売業、ネット小売業への売上アップカバリーしていく。また大型舗であるが、前々期に黒字化して前期に1店出店したが、今後も得意先が無い地域に出店していく。B to Bの業界卸売業・中部キスバも事業継承や人材確保等の不安のある納品小売業の仲間を増やしながら成長していく。シートイーは従来DX、ITS系にココロ東海販売が培ったオフィス環境作りの空間ビジネスを取り込んで伸ばしていく。色々と申しあげたが、今後とも絶対前向きに、成長性を忘れず、利益をしっかり

出すしていく。何卒今後とも支援、協力を願いたい。次いで加藤憲G.R.S.、阪野雅樹社長より、G.R.S.グループの業績概況として「第58期のグループの加藤憲G.R.S.と加藤憲ツウワンの2社総売上は430億5100万円、対前対98.3%、予算比101.8%、経常利益3億3400万円だった。部門別として量販部売上は対前94%、同じくNC営業部97.8%、EC営業部110%だった。昨年4月には札幌営業所、5月には物流拠点も札幌市内から北広島市へ移転したが、大きなトラブルもなくスタートでき、御礼申るが総売上は418億1000万円、対前97%、経常利

益は1億3000万円とした。今期がスタートした第1四半期としては売上、利益とも予算通りで進んでいる」と発表し、併せて2月18日の見本市「スプリングフェスタ2026」(名古屋・吹上「中小企業振興会館」と、6月26日の「トレ」にてキャッチ2026(都

て)と挨拶。賛助会を代表してアケボノクラウン・松本主司社長が「A社の問題で販売店は3カ月間苦しい状況が続いている」と挨拶。たのではないか。A社の売上が約5千億円、1カ月前は約500億円の商品がなくなったわけだが、今まで想像できなかったことが起きた。我々ができることをしっかりとやりながら、お客様に再度認識してもらって販売を頑張っていくしかない。神戸文協に対してはしっかりと応援していきたい」と挨拶した。

## 前を向いて組合運営

神戸文協 42人出席して新年祝う

神戸文具事務用品協同組合(長澤宗弘理事長)は、令和8年新年祝賀会を1月20日午後6時半から神戸市中央区の神仙閣で開催、組合員、賛助会員など42人が出席して新年を祝った。祝賀会は、中村宜史専務理事の司会で進め、開宴に先立ち長澤理事長が「昨年を振り返ると10月19日にA社のシステムがダウンする



神戸文協の新年祝賀会

という大きな問題が起きた。これにより大変な思いをされた人、それによってハッピーになられた人もいた。昨年を振り返る中で、私事だが55歳からゴルフを始めたいことを公表し、今年に入ってからデビューしようと思っていたが、昨年股関節を傷めてしまった。今年も組合活動も含めてしっかりと前を向いて進んでいきたい」と挨拶。

## F&M大阪で 円安に警鐘

セキセイ・西川会長



のF&M大阪「851おとなの文化村」に出演、「消費税率の議論の前に、円安がもたらす物価高を議論すべきで、将来的に円安が日本経済に及ぼす影響は大きい」とコメントした。西川会長は「日本株は日経平均株価5万4000円、台という高い水準で、日本経済の頑強さを示すように見える。1ドル157円と

非常に危険な思い込みだらう。米国のハイテク株急落、AIによる産業構造の転換が始まっている中で、日本市場だけがその荒波から逃げ切れるはずがない。円安による輸入コストの増大が国民生活を圧迫し、実体経済を蝕んでいる側面を無視してはいけない」と円安の懸念を強めて、警鐘を鳴らした。

## 未来へと続く 70周年記念史

台湾の雄獅文具

台湾の有名文具メーカー、雄獅鉛筆廠股份有限公司(李翼文社長)は、本年創立70周年を迎え、これを記念して、社長自ら編纂した記念誌「雄獅文具七十年史」を発行。本文は李社長の巻頭挨拶にはじまり、組織の歩み、変化と成長の軌跡、年表など、第6章からなり、過去から未来へ紡ぐ70年史として編纂されている。



「雄獅文具七十年史」(カラー、本文318ページ)を発行。本文は李社長の巻頭挨拶にはじまり、組織の歩み、変化と成長の軌跡、年表など、第6章からなり、過去から未来へ紡ぐ70年史として編纂されている。

株式会社 **ヤマガタ**

TRADE MARK

月印紙製品

http://le-yamagata.com

紙製品は、お客様の想いを届けるための大切なツールと考えております。製品を通じて社会貢献につながる喜びに感謝しつつ一つ一つ大切に作り、大切にお届けしてまいります。

## ニッケン文具株式会社

本社 〒577-0012 東大阪市長田東1丁目1番17号  
TEL(06)6747-7711・FAX(06)6747-5557

代表取締役社長 徳弘 恭子

第二支店・関西支店  
第七支店・なみはや支店・SRD事業部  
関東支店・東支店・名古屋支店  
四国支店・九州支店・札幌支店  
グループ会社 株式会社 エスケイ深井